



ハンファ Q セルズジャパン

パワーコンディショナと計測端末の接続例

本紙が対応するパワーコンディショナ

HQ-D-RA45-1	(4.5kW タイプ)
HQ-D-RA55-1	(5.5kW タイプ)
HQ-D-RA55-1E	(5.5kW 塩害対応タイプ)

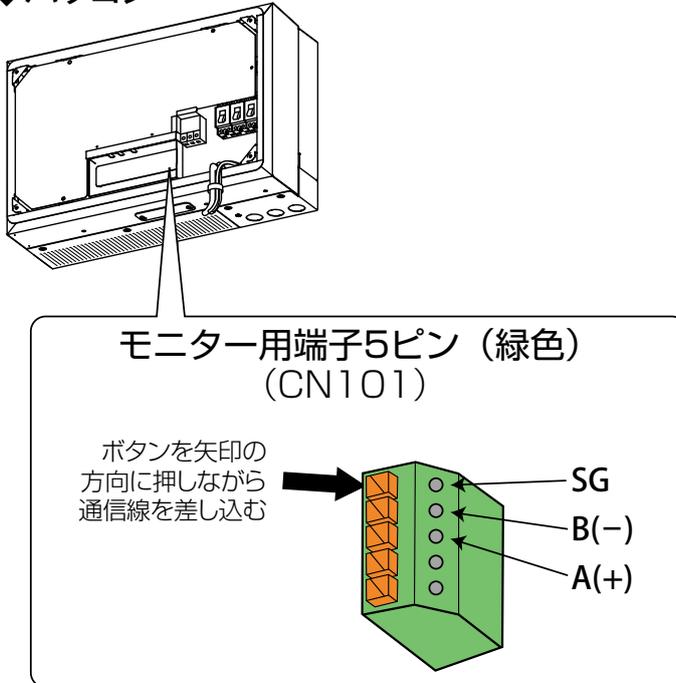
パワーコンディショナの設定についての詳細は、
パワーコンディショナに付属する取扱説明書をご参照ください。
本紙記載の作業には電気工事士の資格が必要です。

※本紙は弊社の対応履歴をもとに作成しております。

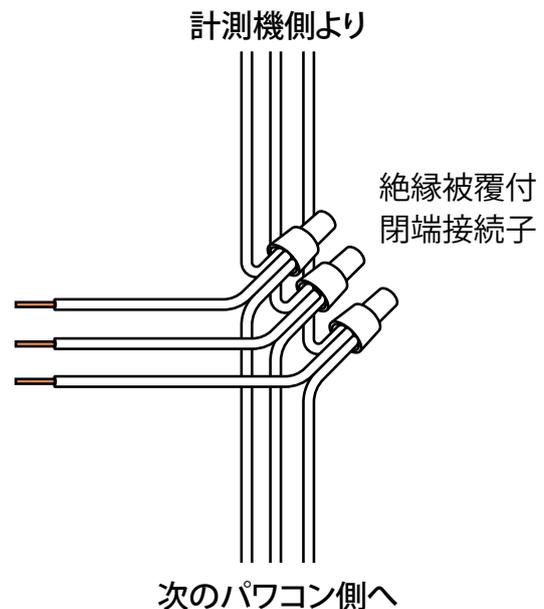
Q CELLS パワコンと Solar Link ZERO の接続について

Solar Link ZERO (以下「ZERO」) とパワコンは RS-485 での通信を行いますので、ZERO の端子台とパワコンのモニター用端子 (CN101) を RS-485 通信線で接続します。

◆パワコン



パワコンが2台以上の場合は、RS-485信号線を、絶縁被覆付閉端接続子などを使って分岐接続する必要があります。



RS-485 通信用線として、モニター用端子 (CN101) に差し込み可能なケーブルをご用意ください。パワーコンディショナの据付工事説明書内にシールド付きツイストペアケーブル (線径は 0.5mm ~ 0.65mm) の記載があります (例: FCPEV 0.65mm x 1P)。

また、モニター用端子の各コネクタには通信ケーブルが1本ずつしか接続できませんので、使用する信号線の線径3本分に適合する絶縁被覆付閉端接続子をご用意の上、分岐接続を行ってください。

ZERO 側に接続する信号線の先端には、メーカー指定の圧着工具を用い丸端子をカシメ加工します。

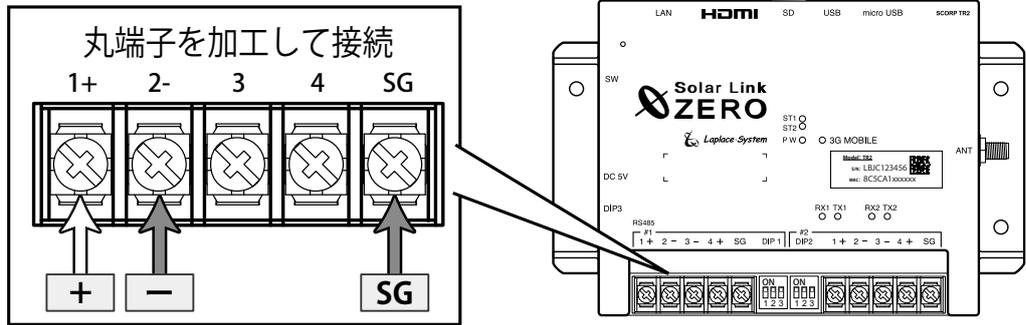
※ 推奨接続丸端子: (株)ニチフ端子工業製 TMEV1.25-3 相当品

※ その他、ZERO 自体の施工はラプラス・システムの施工説明書をご覧になり「施工に必要なもの」をご用意ください。

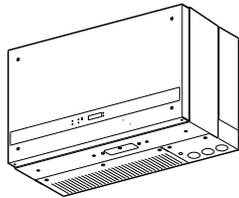
- ケーブルの切断や加工時は、ケーブルがパワーコンディショナなどへ接続されていないことを確認してから作業を行ってください。
- RS-485 通信は極性 (「+」、「-」、「SG」) があります。極性を誤ると通信ができません。
- 絶縁被覆付閉端接続子に水侵入しないように防水処理をおこなってください。
- パワコンから出した RS-485 通信線は、パワコンの直流側ケーブル、交流側ケーブルからなるべく 300mm 以上離して配線してください。

Q CELLS パワコンの設定について

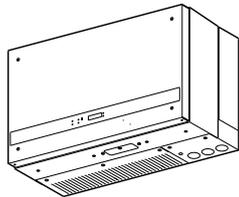
パソコン側のアドレス番号と終端抵抗の設定



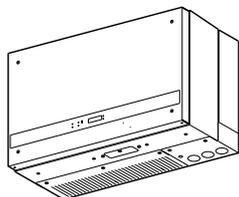
1 台目 (直近)
アドレス番号 : 1
終端抵抗 : OFF



2 台目
アドレス番号 : 2
終端抵抗 : OFF



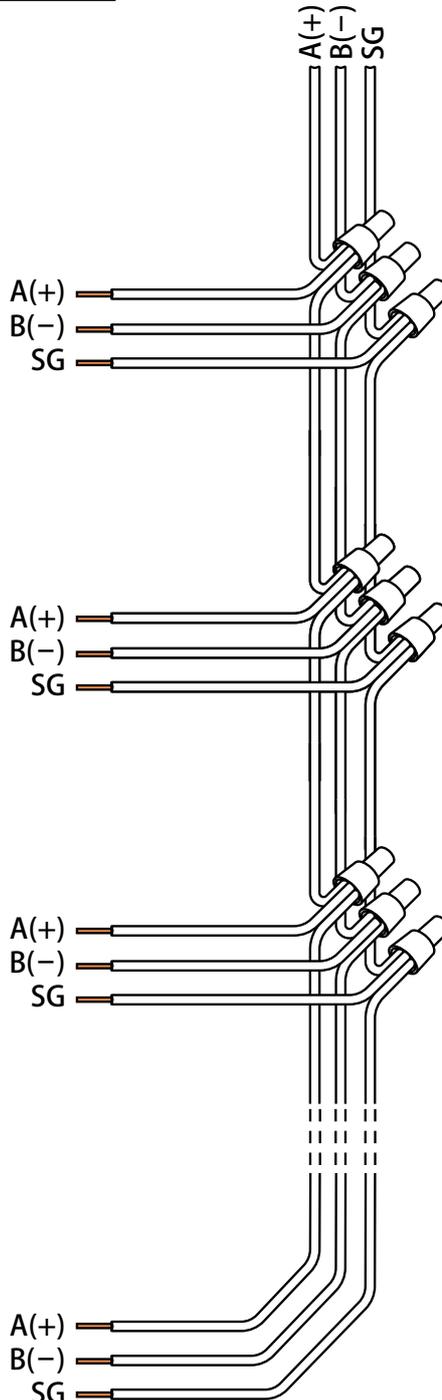
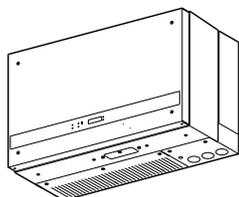
3 台目
アドレス番号 : 3
終端抵抗 : OFF



⋮

⋮

n 台目 (最遠)
アドレス番号 : n
終端抵抗 : ON



モニター用端子へは、1本の線のみを接続します。そのため、バス結線を行うために、中間のパワコンへの信号線接続には絶縁被覆付閉端接続子をつかって分岐接続する必要があります。